

## 令和5年度 「特色ある学校づくり対策事業」 実践事例

佐世保市立鹿町中学校

学校教育目標

磨きあえ 心  
学びあえ 知  
鍛えあえ 体



佐世保市鹿町町下歌ヶ浦1番地16

校長 桃坂 靖

生徒数 92名（学級数7学級）

### 1 目的

生徒や地域の実態に考慮し、特色ある取組を行うことで、学校教育目標の具現化を図る。

- (1) 規律正しく思いやりのある生徒の育成（磨きあえ心）
- (2) 正しく考え、進んで学ぶ生徒の育成（学びあえ知）
- (3) 明朗で、たくましい生徒の育成（鍛えあえ体）

### 2 実践内容・成果

#### (1) 規律正しく思いやりのある生徒の育成(磨きあえ心)

◇生徒会活動の充実（全学年）

今年は新たに千鳥越球場を遠足の目的地としました。生徒会を中心に計画を立て、歓迎遠足と歓迎行事が実施され、生徒たちは楽しい時を過ごし、生徒間、生徒と教師間の親睦を深め、人間関係を構築することができました。



#### ◇保育実習（3学年）

家庭科の時間を利用し、3年生の保育実習を実施しました。近くの保育所を訪れ、小さな子供に対する接し方やコミュニケーションの取り方など、対人関係の構築について学ぶことができました。



#### ◇性教育講演会（全学年）

「長崎いのちを大切にする会子育て支援センターぴよぴよ」の指導員である吉松先生をお招きし、性教育講演会を行いました。命にかかわる様々な事例を力強く説明され、生徒はもちろん、保護者の方々に対しても、生きること、育てることの意義を再確認しました。



#### ◇メディア講演会（全学年）

長崎県メディア安全指導員を講師として招聘し、SNSの使い方と使用上の注意点などについて、理解を深めることができました。SNSの世界であっても、普段同様お互いを知り、お互いの心や思いやりが基本であるなど、情報社会で生きていくためのルールを知り、心構えをすることができました。



#### ◇心の状況調査2回目の実施（全学年）

中学校半年間の集団や個人の成長や、新たな課題を把握するために、12月に2回目のiチェックを実施しました。結果は職員研修で分析し、生徒一人ひとりへの対応や指導方針の確立に役立てることができました。

## (2) 正しく考え、進んで学ぶ生徒の育成(学びあえ知)

### ◇職業講話・職場体験学習（2学年）

介護福祉士の方を講師に招き、職業講話を実施した。実体験を含めた話はとても説得力があり、仕事に対する心構えや、仕事の楽しさ、難しさなどの多くを学ぶことができた。また、町内の事業所で職場体験学習を実施した。身近な地域での体験ができ、有意義な取組となった。



### ◇お魚教室（1学年）

佐世保市相浦漁業協同組合より3名のゲストティーチャーを招き、お魚教室を実施しました。アジを三枚におろし、アジの蒲焼きとつみれ汁を作りました。食に対する意識の向上や、魚のさばき方など調理の技能の向上を図ることができました。



### ◇地域の方による面接練習の実施（3学年）

地域の方々7名を講師に招き、2日間にわたり面接指導を実施しました。初めて会う人の前で自分の考えや意見を述べることの難しさを感じながらも、本番さながらの緊張感を味わうことができました。地域の方々も、生徒たちの受け答えよさを称賛してくれました。



### (3) 明朗で、たくましい生徒の育成(鍛えあえ体)

#### ◇シーカヤック体験の実施(全学年)

海洋スポーツ基地と連携して実施した。地域の方々との交流推進、地元の豊かな自然を再発見できる素晴らしい活動であり、子どもたちの笑顔と笑い声が海上にあふれる有意義な時間となりました。



#### ◇駅伝競走・町内駅伝大会への参加

佐世保市中体駅伝競走に向け、夏休み前から陸上部を中心として、体力の向上に努めました。大会前には佐世保市総合グラウンドで試走を実施しました。また、1月末の町内駅伝大会への参加を目標に、練習を行いました。



## 3 今年度の成果と課題

### <成果>

- 新学習指導要領の柱である「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、多くの教科でタブレットを活用した学習活動を行いました。特に3年生の机に装着しているブックスタンドは、授業の際の机上の自由度が増え効果が認められました。
- 2年生を対象に3日間にわたり職場体験学習を実施しました。健全な職業観と進路意識を持たせることで、自分の将来に向けて深く考える有意義な機会となりました。
- 3年生を対象に、地域の方々を面接練習の講師に招聘しての面接練習を実施しました。受験を前にした生徒たちにとって非常に有意義でした。また、地域の方々には、本校の子どもや教育活動の現状を見ていただくことができ、多くの感想や助言などいただきました。
- 全学年に対し、メディア講習会、性教育講演会、デートDV防止教室などを行うことで、生徒のみならず、保護者や職員の意識を新たにすることができました。

### <課題>

- コミュニティスクールの実施を前に、地域の特性を生かした異校種間の交流をさらに発展させながら、本年度以上に学力の定着、向上に努めていくことが重要となるため、特に小学校との連携強化を図りながら、鹿町地区の将来を見据え、学力や道徳性、地域貢献などを実践していく必要があります。
- 地域の一員として地域貢献の意識を持たせるために、地域行事(鹿町文化祭、しかまち駅伝など)への参画を進めていくことが必要となります。
- 外部人材を生かした活動や、外部との交流をさらに増やし、郷土に対する愛情を育み、コミュニケーション能力や社会性、公共心を高めるとともに、一人ひとりの進路の実現、学力向上、生きる力の育成を行う必要があります。